



CMIC
Interim Report 2003

第19期 中間事業報告書
2002年10月1日～2003年3月31日

より一層の体制強化を行い、 医薬品開発のプラットフォームとして 総合的にサポートするPVCを目指します。



代表取締役社長CEO 中村 和男

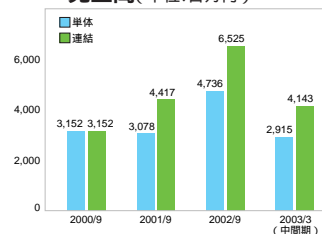
株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループは、「EBM（科学的根拠に基づいた医療）の確立に貢献する企業」を経営理念として、より良い薬をより早く患者さんの元へ届ける手助けをしています。当社グループが属するCRO（医薬品開発受託機関）業界は、製薬企業が新薬の研究開発を活発化している状況の中で、臨床試験支援業務の受託量とその範囲を拡大しております。こうした市場拡大に加え、国内外の顧客から新薬開発支援業務の受託拡大に努めました結果、当社グループの当中間期の売上高は、41億43百万円（前年同期比37.7%増） 経常利益4億72百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

通期におきましても、モニタリング業務を中心に、データマネジメント業務、CRC業務及び薬事コンサルティング業務・その他において、受注拡大を目論み、事業の拡大に努めてまいります。

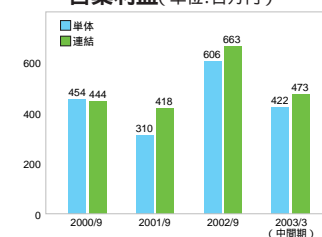
これらにより連結売上高85億30百万円（前期比30.7%増） 連結経常利益9億2百万円（前期比37.5%増） 当期純利益4億17百万円（前期比58.0%増）を見込んでおります。

当社グループは、製薬企業が直面する問題の解決策を提供するソリューションプロバイダーから、医薬品の世界に新たな価値を創造するための支援を行うPVC（Pharmaceutical Value Creator）を目指し、安全でより良い薬が1日でも早く患者さんに提供できるよう努力してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

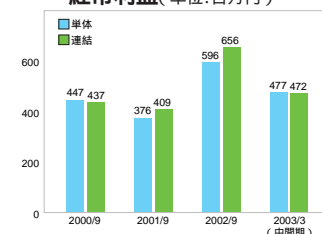
売上高(単位:百万円)



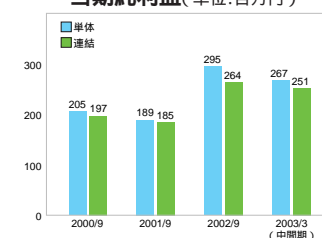
営業利益(単位:百万円)



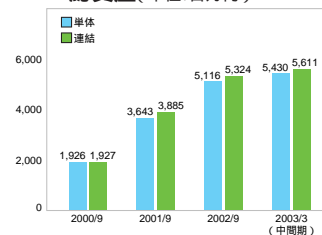
経常利益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)



総資産(単位:百万円)



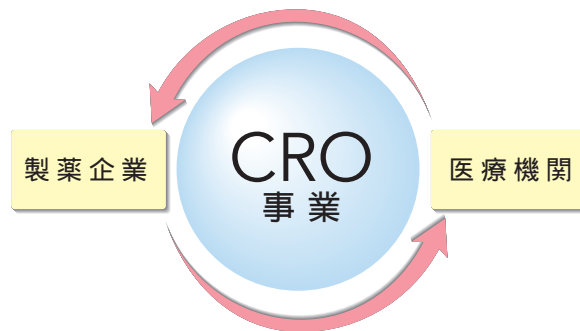
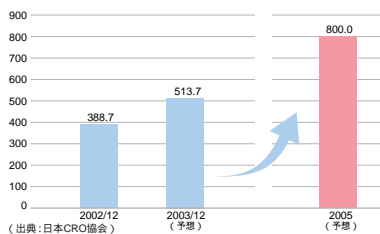
より高度に、より専門的に。 シミックは、4つのソリューションで新薬開発を総合支援しています。

What is CRO? (CRO事業とは?)

新薬開発プロセスは、基礎研究から始まり前臨床試験、臨床試験（治験）申請・承認・販売、市販後調査（PMS）と長期間に渡り膨大なコストを必要とします。製薬企業は開発の全てを自社で行う事が合理的かを検討するようになりました。そこで研究開発の外部委託機関として誕生したのがCROです。シミックは日本初のCRO企業として1985年に設立。製薬企業の戦略的パートナーとして、新薬開発の総合支援をご提供しています。

当社グループのCRO事業は、モニタリング業務をはじめデータマネジメント業務、CRC業務（クリニカルリサーチコーディネーター）、薬事コンサルティング業務・その他の4部門で構成されています。現在の臨床試験は、新GCP（医薬品の臨床試験の実施基準）という欧米並の厳しい基準に沿って行う必要があります。シミックは、これらの業務を通じて培ったノウハウを活用して、さらなる発展を目指します。

CRO市場の推移(億円)

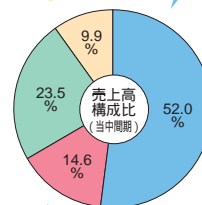


薬事コンサルティング業務・その他

戦略薬事コンサルティングから市販後のマーケティング・ストラテジーコンサルティング、国際プロジェクト、有害事象のマネジメントなど、これからの製薬ビジネスに欠かせないさまざまなサービスを提供しています。

モニタリング業務

臨床試験の依頼者（製薬企業等）により指名されたモニターが、治験の進捗状況を調査し、治験がGCP、治験実施計画書、標準業務手順書に従って実施、記録及び報告されていることを確認する業務です。



CRC業務

クリニカルリサーチコーディネーター（CRC：Clinical Research Coordinator）業務は、臨床試験が医療機関で円滑に実施されるよう医師の指導の下、被験者選択、被験者の同意書（インフォームド・コンセント）取得、被験者の登録、被験者のケア、データの収集及び整理、保管等を行います。

データマネジメント業務

試験責任医師の臨床データを処理し、統計解析までを行う業務。記入漏れや矛盾点などを発見、データベース化し、有効性、安全性の評価を行います。当社では迅速にデータ収集・解析するABCDシステムを開発。大規模な臨床試験のコスト削減が可能です。

専門性と総合力で速やかな医薬品開発を支援しています。

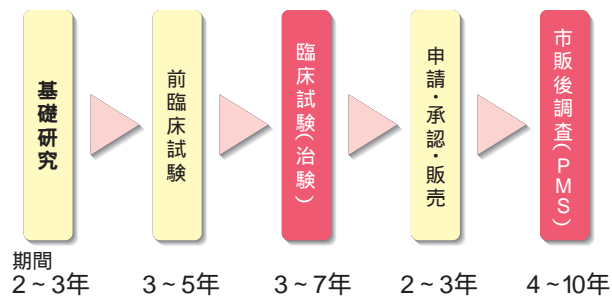
モニタリング業務は、新薬開発の中心。 私たちは、開発のスペシャリストです。

シミックが本格的なCRO事業を開始したのは1992年。まだCROという名称が認知される以前です。モニタリング業務は、GCPや治験実施計画書などに従って実施・記録・報告されているかなどを確認する業務です。スムーズな臨床試験の運営と管理を提供するためには卓越した専門知識と豊富な実績が必要です。シミックは、日本最大のモニター（CRA）を擁し、開発に強い専門家集団として競争優位性を確保してまいります。

モニタリング業務を中心に臨床試験の 周辺ビジネスを展開。シナジー効果を 生み出す総合力でリードしていきます。

CROは、製薬企業が行う医薬品開発を一部受託する機関として認知されてきました。しかし医薬品開発の競争激化や多様化の激しい波により、さらなるスピード化と医薬品開発周辺業務のトータルな支援が今、CRO企業に求められています。シミックは、豊富なノウハウと実績を基に、より付加価値の高い専門的なサービスを多角的に展開。シナジー効果を生む、PVCへ移行しています。創薬から開発、販売までトータル支援できる体制づくりを今はじめています。

新薬の開発プロセス（赤色の部分が、当社の主要業務）



当社モニタリング業務の競争優位性

CROのパイオニアとしての豊富なノウハウと実績

日本で最大のモニター集団

新規採用した人材への徹底した教育制度

日本で唯一の全国支店網を整備

連結財務諸表(要旨)

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2003年3月31日現在)	前中間期 (2002年3月31日現在)	前 期 (2002年9月30日現在)
資産の部			
流動資産合計	4,685,973	3,648,877	4,697,852
固定資産			
有形固定資産	395,487	258,256	230,911
無形固定資産	150,995	94,012	97,144
投資その他の資産	378,829	268,955	298,454
固定資産合計	925,313	621,224	626,510
資産合計	5,611,286	4,270,101	5,324,362

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2003年3月31日現在)	前中間期 (2002年3月31日現在)	前 期 (2002年9月30日現在)
負債の部			
流動負債合計	1,664,727	1,787,164	1,472,110
固定負債合計	369,278	674,616	447,335
負債合計	2,034,005	2,461,781	1,919,445
少数株主持分			
少数株主持分		16	
資本の部			
資本金	1,216,060	638,060	1,216,060
資本剰余金	1,461,370	551,370	1,461,370
利益剰余金	898,397	617,383	726,792
為替換算調整勘定	1,453	1,490	694
資本合計	3,577,280	1,808,304	3,404,916
負債、少数株主持分及び資本合計	5,611,286	4,270,101	5,324,362

グループ子会社(連結子会社)



Clinical Research Coordinator

シミツCRC株式会社
CRC業務

医療機関における臨床試験支援業務の運営、管理業務を行っております。



Marketing Promotion Sales Support
株式会社 シミツエムピーエス
MPSS業務

営業マーケティング活動受託機関として、製薬会社等の医薬業界におけるマーケティングセールスポイントを行っております。



株式会社 シミツ・ピーエス
人材組織開発

製薬・医療業界における人事・組織開発サポート業務を行っております。



Academic Data Center

株式会社 シミツアカデミックデータセンター
医師主導の臨床研究支援業務

医師主導による自主的な臨床研究の支援業務を行っております。



CMIC Korea Co., Ltd.
アジア展開拠点

アジアにおけるCRO事業の拠点として、事業の推進・強化に努めております。



PCN株式会社
2003年6月2日設立

株式会社NTTデータとの合併により設立。被験者募集及びDTC(消費者に対する直接的プロモーション活動)マーケティング事業を行っておりません。

連結財務諸表(要旨)

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年9月30日まで)
売上高	4,143,562	3,009,629	6,525,524
売上原価	2,788,543	2,045,579	4,402,541
売上総利益	1,355,019	964,049	2,122,983
販売費及び一般管理費	881,050	605,000	1,459,362
営業利益	473,968	359,049	663,620
営業外収益	7,874	9,894	13,942
営業外費用	9,249	11,561	21,315
経常利益	472,593	357,382	656,247
特別損失	1,055	2,528	15,898
税金等調整前中間(当期)純利益	471,538	354,854	640,348
法人税、住民税及び事業税	300,373	250,361	440,630
法人税等調整額	80,202	50,178	64,345
少数株主損失	177	91	107
中間(当期)純利益	251,544	154,762	264,171

Point 1

連結中間売上高におきましては
モニタリング業務を中心に前年
同期比37.7%増となりました。

Point 2

連結中間経常利益におきまし
ては前年同期比32.2%増とな
りました。

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年9月30日まで)
連結剰余金期首残高		509,492	509,492
連結剰余金減少高		46,871	46,871
中間(当期)純利益		154,762	264,171
連結剰余金中間期末(期末)残高		617,383	726,792
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,461,370		
資本剰余金中間期末残高	1,461,370		
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	726,792		
利益剰余金増加高	251,544		
利益剰余金減少高	79,940		
利益剰余金中間期末残高	898,397		

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	309,095	121,608	74,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	245,865	767,548	739,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	218,454	109,620	905,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	270	644	468
現金及び現金同等物の増減額(は減少額)	155,494	999,422	1,720,666
現金及び現金同等物の期首残高	2,765,632	1,044,966	1,044,966
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,610,138	2,044,388	2,765,632

個別財務諸表(要旨)

中間個別貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2003年3月31日現在)	(2002年3月31日現在)	(2002年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	4,248,957	3,203,334	4,308,946
固定資産	1,181,989	794,361	807,282
資産合計	5,430,946	3,997,696	5,116,229
負債の部			
流動負債	1,453,639	1,557,100	1,247,421
固定負債	337,402	643,142	422,238
負債合計	1,791,042	2,200,243	1,669,659
資本の部			
資本金	1,216,060	638,060	1,216,060
資本剰余金			
資本準備金	1,461,370	551,370	1,461,370
資本剰余金合計	1,461,370	551,370	1,461,370
利益剰余金			
利益準備金	17,700	17,700	17,700
任意積立金	540,000	390,000	390,000
中間(当期)未処分利益	404,774	200,323	361,439
利益剰余金合計	962,474	608,023	769,139
資本合計	3,639,904	1,797,453	3,446,569
負債・資本合計	5,430,946	3,997,696	5,116,229

中間個別損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年3月31日まで)	(2001年10月1日から 2002年9月30日まで)
売上高	2,915,229	2,115,849	4,736,498
売上原価	1,975,855	1,522,856	3,308,186
売上総利益	939,374	592,993	1,428,312
販売費及び一般管理費	517,000	319,880	821,790
営業利益	422,373	273,112	606,521
営業外収益	57,745	6,745	11,202
営業外費用	2,826	11,522	21,125
経常利益	477,292	268,335	596,598
特別損失	1,055		13,347
税引前中間(当期)純利益	476,237	268,335	583,251
法人税、住民税及び事業税	262,305	167,688	338,007
法人税等調整額	53,342	33,512	50,032
中間(当期)純利益	267,274	134,159	295,275
前期繰越利益	137,499	66,163	66,163
中間(当期)未処分利益	404,774	200,323	361,439

会社概要 (2003年3月31日現在)

商号 シミック株式会社
設立 1985年
資本金 1,216,060千円
本社所在地 〒141-0022 東京都品川区東五反田4-7-20 相生ビル
従業員数 589名
(連結) 126名(平均臨時雇用者数)

事業所 北海道支社 東北支社
名古屋支社 大阪支社
九州支社 CMIC China(北京駐在員事務所)

グループ会社 シミックCRQ(株)(株)シミックMPSS
(連結子会社) (株)シミック・BS (株)シミックADC
CMIC Korea Co., Ltd.

役員 (2003年3月31日現在)

代表取締役社長	中村和男
取締役副社長	西山紀男
専務取締役	市川宏司
常務取締役	中村圭子
常務取締役	中村紘
取締役	安田利正
取締役	奥山真一
取締役	田中貴幸
取締役	小駒皆子
取締役	山崎恒義
取締役	久保忠司
取締役	詫摩直也
監査役(常勤)	中野信介
監査役(非常勤)	後藤慎
監査役(非常勤)	長井千子
監査役(非常勤)	酒井繁

シミック株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-7-20 相生ビル
Tel 03-3280-2296(代)
Fax 03-3280-5657
<http://www.cmic.co.jp/>

株式の状況 (2003年3月31日現在)

株式データ

会社が発行する株式の総数 2,300,000株
発行済株式総数 673,600株
株主数 1,811名

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルテミス	330,600	49.07%
中村和男	131,500	19.52%
シミック従業員持株会	24,440	3.62%
みずほキャピタル株式会社	17,600	2.61%
中村圭子	16,400	2.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	16,080	2.38%
資産管理サービス信託銀行株式会社	7,240	1.07%
市川宏司	7,000	1.03%
UFJ信託銀行株式会社	6,600	0.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	6,400	0.95%

- (注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てております。
2. 上記株主の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 16,080株
資産管理サービス信託銀行株式会社 7,240株
UFJ信託銀行株式会社 6,600株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 6,400株

株式メモ

決算期日 毎年9月30日
定時株主総会 毎年12月
配当金受領の株主確定日 9月30日
中間配当を実施するときは3月31日
基準日 毎年9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
公告掲載紙 日本経済新聞
名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先 電話(03)5213-5213(代表)
同取次所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店